

事例⑥ 授業研究会

小学校

中学校

高等学校

★ポイント

- 授業研究会のねらいを明確にし、組織全体で学力向上を目指す。
- 教員一人一人が、授業の見方と子どもの見方を鍛え、授業力の向上を図る。

■関連する視点：視点7－実践的な指導力の向上 視点8－授業研究の充実・改善

研修の計画

- ◇ 目的
 - 子どもの姿を基にして、授業の観点に沿って協議し、授業のねらいの達成度、工夫した点の有効性について検証し、成果と課題を確認する。
- ◇ 所要時間 ：約 60 分
- ◇ 方法・形態：ワークショップ（1 グループ：6～8 人）
- ◇ 対象者 ：全職員
- ◇ 事前準備 ：授業の見方、付箋紙の書き方について共通理解を図る。（参考資料）
 授業者の示した授業の観点を知らせる。
- ◇ 展 開 （授業の観点を二つ示した場合を想定している。）

内容	概要及び留意点	資料
1 研修のねらいを確認する。 (2分)	・研修のねらいと研修の進め方について知らせる。（講師または、担当者）	
2 授業者の反省と協議の中心を確認 (3分)	・共通の課題のもと、協議を深められるように、授業者が協議してほしい点を含め、授業の観点を確認する。	
3 ワークショップ (30 分)	①一つ目の観点について、参考になる点を、付箋（水色）を出しながら、話し合う。 ②一つ目の観点について、授業者に聞いてみたい点、気になった点・疑問点を、付箋（桃色）を出しながら話し合う。 *二つ目の観点についても、①②と同様に、話し合う。 ③二つの観点以外で、参考になった点、気になった点について話し合う。 ④貼られた付箋をグルーピングタイトルを付ける。特に話題になった課題の対応策を話し合う。	・ワークシート ・付箋
4 情報交換 (15 分)	・各グループで話題の中心になったこと等を発表し合う。	
5 振り返り (10 分)	・授業及びワークショップを通して学んだこと、今後の授業に生かせることなどを書いたり、話し合ったりする。	・振り返りカード

- ◇ 評 価
 - ・子どもの姿を基にして、授業の観点に沿って、目標の達成度や工夫した点の有効性等について協議し、日頃の自分の授業について振り返ることができたか。
 - ・学校課題の解決という視点から協議し、成果と課題を整理することができたか。

研修の進め方

授業観察のポイントを事前に確認

授業研究会の前に、授業の見方を確認します。子どもの表情やつぶやき、ノートの記述等から、どの程度理解し、どのように学んでいるかを見取ることは、授業の構想や展開、授業中における指導力の向上に役立つと考えられます。

研修のねらいの確認（例）

- ・参加者全員が活発に意見を出し合うとともに、自分の授業を振り返る。（初期の段階）
- ・活性化が図れてきたので、授業の観点に絞って話し合い、協議の深化を図る。（深化を図る段階）

ワークショップの進め方

- プロンプター(司会者)は、限られた時間に全員が話せるように進行します。
- ①初めて行う場合は、発言する順番を決めて付箋を出しながら、子どもの学びの様子について話す。その際、同じ意見の付箋がある人は、順番でなくとも出すとよい。
 - ②授業者は、各グループを数分ずつ回り、質問を受ける。
 - ③観点以外で気付いた点については、その他の欄に貼る。
 - ④同じような内容の付箋をグルーピングしてタイトルを付ける。このことによって、成果と課題が見えてくる。
 - ⑤付箋を貼り終えてから、特に話題になった点について、対応策や解決策を話し合う。

期待される振り返り

- ・他の子どもを指導していて、見逃していた子どもの変容を知ることができ、参考になりました。
- ・子どもの発言や反応を表面的に捉えるのではなく、その反応の背景について考察する必要があると思いました。

工夫

- 時間を短縮したいときは、授業終了とともにワークシートに付箋を貼っておきます。授業研究会の前に、プロンプターが、出された内容をおおよそ把握しておく。
- 日頃の実践に生かすには、自分の指導に生かせる視点での振り返りを入れます。

参考資料・情報

- ・栃木県総合教育センター「授業評価と授業研究会に関する参考資料(高等学校)」平成 20 年
- ・栃木県総合教育センター「高め合おう『授業力』！磨き合おう『教師力』！」Vol.1 平成 20 年
- ・栃木県総合教育センター「高め合おう『授業力』！磨き合おう『教師力』！」Vol.2 平成 21 年

【参考資料】

授業の見方

- 1 子どもの顔が見える位置に立つ
- 2 全体と個を見る
- 3 視点を意識しながら事実を見取る
 - 子どもの表情やつぶやき
 - 教師の投げかけに対する子どもの反応
 - 子どもの取組や変容

付箋の書き方

- 2色の付箋を使い分ける
 - 参考になる点
 - 気になった点、疑問点
- 時刻を記入
- 中太のサインペンで
- 短い文や単語で

		〇月〇日() 〇〇科「 」 〇年〇組 授業者()		
		観点1	観点2	その他
参考になる点				
気になった点				

ワークシートについては、本図の観点別シートの外に、時系列シート、2軸のシート等が考えられる。